

知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第8回] クイズ チャレンジ!!

琵琶湖文化館の収藏品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。是非チャレンジしてみてください！



問題 22

寺院の堂内の長押などに懸ける飾り、華鬘。^{なげし}その起源は生花といわれています。今に伝わっている華鬘の材質は、金銅製や木製のほか、何があるでしょうか？次の中から選んでください。

- ① 革 ^{かわ} ② 紙 ③ 麻布 ^{あさぬの}



ヒント：[🔍 外部サイト / 朝日新聞デジタル < 連載企画「滋宝 琵琶湖文化館収藏品から」 < 堂内飾り、インドの花輪が起源・金銅透彫華鬘]

問題 23

この木箱は、「説相箱」といい、底の裏に書かれている銘文から、室町時代の^{だいえい}大永元年（1521）の製作で、元は東大寺二月堂にあったものとわかります。それでは問題です。僧侶が使うこの説相箱、実際にはどのように用いられるものでしょうか？



説相箱 本館蔵

- ① 衣など法要で使う物を入れる
② ご飯を入れて運ぶ
③ 小坊主に説教した日の日記を入れる

ヒント：[🔍 近江の文化財 < 収藏品紹介 < 工芸品 < 説相箱]

問題 24

滋賀県と琵琶湖文化館が一緒になって文化財の魅力を紹介する「滋賀の文化財講座」。毎年多くの方が参加する人気の講座となっています。では、過去の講座からの復習問題です。東近江市の松尾神社が所蔵する「法華経（ほけきょう）」は、平成 29 年に県指定有形文化財となった「木の経典」です。普通のお経のように和紙に書かれているのではなく、薄く細い板材の表面に、小さな文字で丁寧^{まつおじんじや}に書いてあります。

このような、薄い木の板に書かれたお経を、何と呼ぶでしょうか？

- ① こけら経 ② ひわだ経 ③ とちもち経

ヒント：[🔍 講座イベント < 花湖さんの打出のコツチ < 平成 30 年度]



法華経巻8の末部（滋賀県提供）

滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

ウェブサイト / http://www.biwakobunkakan.jp

クイズの答えは、裏面に豆知識と一緒に掲載しています。当館のウェブサイトでは、様々なクイズを随時更新しています。答えのヒントとなる「滋賀県の指定文化財」や「収藏品紹介」などのページもご覧いただけますので是非チェックしてみてくださいね。



【第8回】クイズ チャレンジ!!

【解答編】



答え 22 正解は【① 革】

動物の革を切り透かし、色とりどりの顔料で彩色した革製の華鬘は、「牛皮華鬘」と呼ばれます。奈良国立博物館蔵（国宝）、奈良・興福寺蔵、京都・峰定寺蔵のものなど、平安時代にさかのぼる品が知られています。

なお滋賀県にのこる華鬘は金銅製が多数を占めます。重要文化財でも長命寺、神照寺、金剛輪寺の各寺院所蔵品のほか、兵主大社伝来品（重文・奈良国立博物館蔵）、浄厳院伝来品（重文・細見美術館蔵ほか）も金銅製です。

答え 23 正解は【① 衣など法要で使う物を入れる】



長方形をなす木箱の説相箱。仏教の法要の時に用いる衣や法具、次第などを入れて、僧侶が座るそばに据え置く箱です。よって据箱、接僧箱、また単に衣箱ということもあります。

館蔵品の説相箱は、蓮唐草文の線刻が施された金銅板で飾られたものです。細やかな細工にもご注目ください。



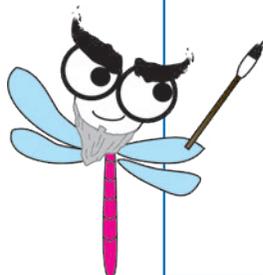
近江の文化財 < 収蔵品紹介 < 工芸品 < 説相箱

答え 24 正解は【① こけら経】

薄い木の板のことを「こけら（柿）」といいます。

実のなる樹木の「柿（かき）」とよく似た文字ですが、よく見ると「旁」の部分の違いがあります。「かき」はナベブタの下に「巾」であるのに対して、「こけら」は隣の縦棒が突き抜けて一画となります。筆で書いてみると、違いがよくわかりますよ。

あきつブログ
2018年5月18日付
プレ講座を開催しました。



柿柿 柿柿

かき
(行書体)

こけら
(行書体)

かき

* 旁が「なべぶた」の下に「巾」

こけら

* 隣の縦棒が突き抜けて一画

【参考】「こけら」と「かき」漢字の違い

